

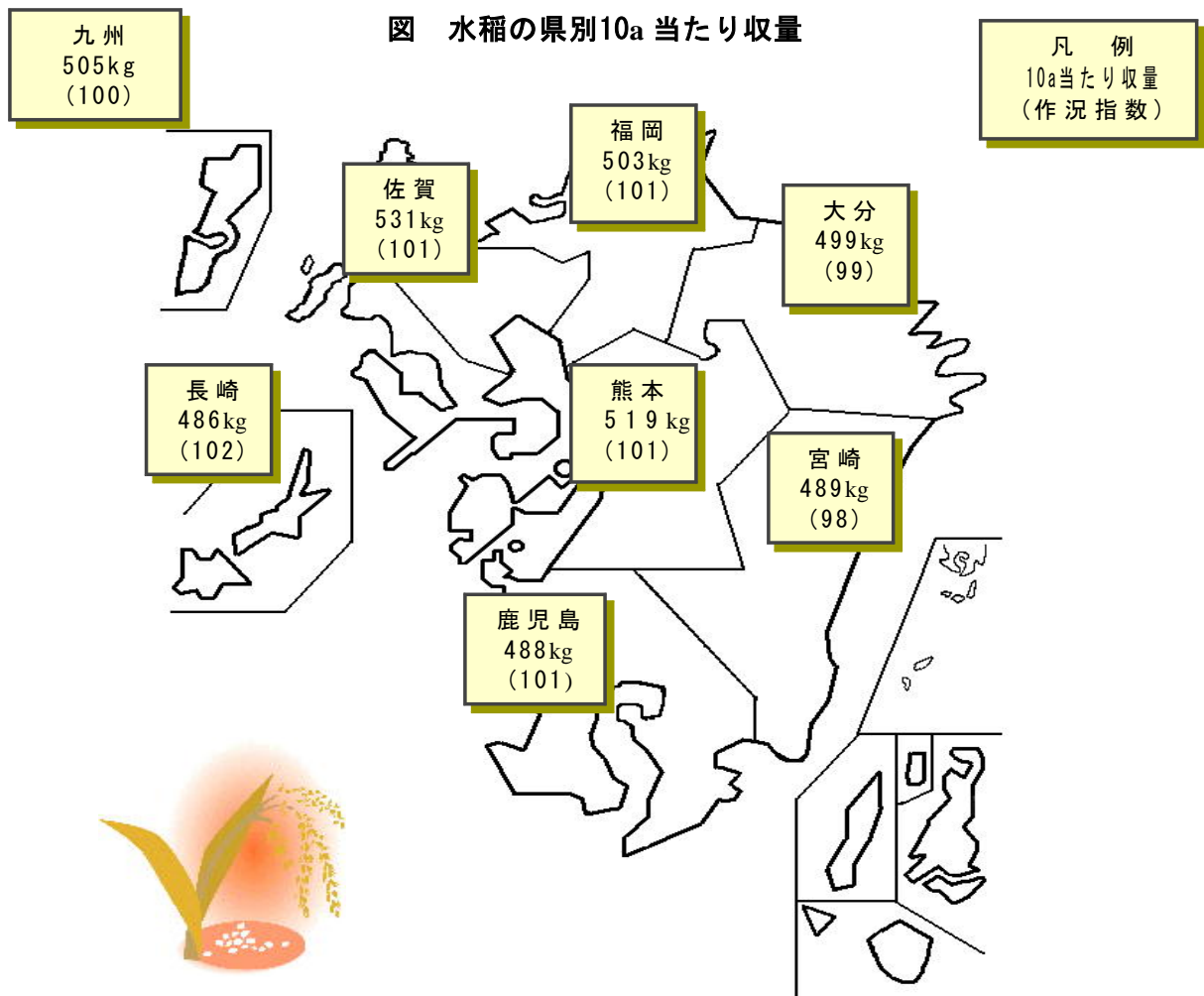
平成23年12月7日公表

平成23年産水陸稲の収穫量（九州）

水稲の10a当たり収量は505kg（作況指数100）
収穫量（子実用）は92万7,000t

【調査結果の概要】

九州における平成23年産水稲の作柄は、出穂期以降おおむね天候に恵まれ登熟は順調に推移したことから、10a当たり収量は505kg（作況指数100）、収穫量（子実用）は92万7,000tとなりました。



○ 作況指数とは、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり収量の比率です。

本統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/index.html> 】

この統計調査における調査目的、調査対象などは、【調査の概要】11ページに掲載しています。

【調査結果】

1 作柄概況

(1) 早期栽培水稻（主産県：宮崎・鹿児島）

作柄は、宮崎は10a当たり収量462kg（作況指数96）、鹿児島は同428kg（同97）となりました。

これは、7月中旬以降おおむね天候に恵まれ、登熟は良好となったものの、田植期の低温及び出穂前の日照不足の影響から全もみ数が少なかったためです。

(2) 普通栽培水稻

ア 全もみ数は、福岡、佐賀、長崎、熊本及び宮崎では「平年並み」、大分は「やや多い」、鹿児島は「やや少ない」となりました。

イ 登熟は、出穂期以降おおむね天候に恵まれたことから、福岡、佐賀、長崎、熊本及び宮崎では「平年並み」ないし「やや良」となりました。鹿児島は全もみ数がやや少なかったことと日照時間も確保され気温日較差もあったことから「良」となりました。

大分は、全もみ数がやや多かったことと、9月中旬以降の日照不足及びいもち病の発生により「不良」となりました。

ウ このことから、福岡は10a当たり収量503kg（作況指数101）、佐賀は531kg（同101）、長崎は486kg（同102）、熊本は519kg（同101）、大分は499kg（同99）、宮崎は509kg（同100）、鹿児島は506kg（同103）となりました。

(3) この結果、九州の10a当たり収量は505kg（作況指数100）となりました。

2 収穫量

収穫量（子実用）は92万7,000tとなりました。

また、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は91万5,400tとなりました。

3 被害状況

早期栽培では、3月下旬から4月上旬の低温の影響により穂数が少なかったことと、出穂前の日照不足により全もみ数が少なかったことから、被害は平年に比べ「やや多い」となりました。

普通栽培では、中山間地域において、いもち病が散見されたものの、全般的に田植以降おおむね天候に恵まれ、被害は「平年並み」となりました。

表 1 平成23年産水陸稲の作付面積及び収穫量

区 分	水 陸 稲 計		水 稲						
	作付面積 (子実用) ha	収 穫 量 (子実用) t	作付面積 (子実用) ha ①	10 a 当 たり 収 穫 量 kg ②	収 穫 量 (子実用) t ③=①×②	参 考			
						主 食 用 作 付 面 積 ha ④	収 穫 量 (主食用) t ⑤=④×②	10 a 当 たり 平 年 収 量 kg ⑥	作 況 指 数 ⑦=②/⑥
九 州 計	183,500	927,000	183,500	505	927,000	181,300	915,400	503	100
福 岡	38,700	194,700	38,700	503	194,700	38,100	191,600	499	101
佐 賀	26,600	141,200	26,600	531	141,200	26,400	140,200	527	101
長 崎	13,700	66,600	13,700	486	66,600	13,700	66,600	476	102
熊 本	37,900	196,700	37,900	519	196,700	37,300	193,600	515	101
大 分	23,500	117,300	23,500	499	117,300	23,400	116,800	503	99
宮 崎	19,000	92,900	19,000	489	92,900	18,800	91,900	497	98
早期栽培	…	…	7,890	462	36,500	…	…	480	96
普通栽培	…	…	11,100	509	56,500	…	…	511	100
鹿 児 島	24,100	117,600	24,100	488	117,600	23,500	114,700	481	101
早期栽培	…	…	5,540	428	23,700	…	…	441	97
普通栽培	…	…	18,600	506	94,100	…	…	493	103

区 分	陸 稲		
	作付面積 (子実用) ha	10 a 当 たり 収 穫 量 kg	収 穫 量 (子実用) t
九 州 計	x	x	x
福 岡	-	-	-
佐 賀	-	-	-
長 崎	x	x	x
熊 本	6	167	10
大 分	0	185	1
宮 崎	4	208	8
早期栽培	…	…	…
普通栽培	…	…	…
鹿 児 島	6	232	14
早期栽培	…	…	…
普通栽培	…	…	…

注:1 作付面積(子実用)とは、青刈り用の面積を除いた面積です。

2 主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む。)から、需給調整の取組として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の面積を除いた面積です。

3 収穫量の九州計は県の積み上げ値であるため、表頭の計算と一致しない場合があります。

4 「-」は事実のないもの、「…」は事実不詳又は調査の欠くものを示します。

5 「x」は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していません。

6 秘匿方法については、調査対象数が2以下の場合には調査結果の秘密保護の観点から、該当結果を「x」表示する秘匿措置を施しています。

表 2 平成23年産水稻の県別作柄概況

区 分	参 考			刈 取 期					平 年 比 較			
	10a当たり 収 量 ①	10a当たり 平年収量 ②	作況指数 ③=①/②	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較		穂 数 の 多 少	一 穂 当 た り も み 数 の 多 少	全 も み 数 の 多 少	登 熟 の 良 否
							平年比	前年比				
kg	kg		月 日	月 日	月 日	日	日					
福 岡	503	499	101	9. 5	10. 3	10.22	1日早	1日遅	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
福 岡	479	481	100	8.29	10. 5	10.18	3日早	1日早	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み
北九州・豊前	487	481	101	8.25	9.23	10.18	4日遅	5日遅	やや少ない	多い	やや多い	やや不良
筑 豊	486	485	100	8.25	9.23	10.16	2日遅	4日遅	やや少ない	多い	やや多い	やや不良
北筑後	524	519	101	9.19	10. 8	10.25	4日早	1日早	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
南筑後	526	517	102	9.23	10. 9	10.27	3日早	2日早	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良
佐 賀	531	527	101	9. 3	10. 8	10.30	並み	1日早	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み
佐 賀	541	536	101	9.18	10.10	10.31	1日遅	並み	やや多い	やや少ない	やや多い	平年並み
松 浦	491	492	100	8.22	9.23	10.19	3日早	3日早	平年並み	やや少ない	平年並み	平年並み
長 崎	486	476	102	8.25	10.11	10.27	1日遅	1日早	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み
西 彼	480	477	101	9.25	10. 2	10.10	並み	並み	平年並み	やや少ない	やや少ない	良
東南部	518	511	101	10. 2	10.13	10.25	並み	1日早	やや多い	やや少ない	やや少ない	やや良
県 北	461	458	101	8.21	10.12	10.30	1日早	3日早	平年並み	やや少ない	やや少ない	平年並み
五 島	422	408	103	8.16	10. 1	10.13	4日遅	1日早	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良
杓岐・対馬	483	446	108	8.26	10. 3	10.15	6日遅	7日遅	平年並み	平年並み	平年並み	良
熊 本	519	515	101	8.16	10. 8	10.27	1日遅	3日遅	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
県 北	542	528	103	10. 4	10.15	10.28	並み	2日遅	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み
阿 蘇	483	510	95	9.16	10. 4	10.22	5日遅	7日遅	少ない	多い	やや少ない	やや不良
県 南	510	510	100	9. 7	10. 8	10.29	2日早	2日遅	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み
天 草	457	437	105	8. 2	8. 9	10. 9	並み	並み	少ない	多い	少ない	良
大 分	499	503	99	9.20	10.17	11. 1	2日遅	3日遅	やや少ない	多い	やや多い	不良
北 部	516	517	100	9.18	10.20	11. 3	3日遅	4日遅	やや少ない	多い	やや多い	やや不良
湾 岸	492	500	98	9.16	10.17	10.29	2日遅	2日遅	やや少ない	やや多い	やや多い	やや不良
南 部	483	498	97	9.25	10.17	11. 2	3日遅	3日遅	やや少ない	多い	やや多い	不良
日 田	511	490	104	9.15	10. 5	10.27	2日遅	2日遅	やや少ない	多い	多い	平年並み
宮 崎	489	497	98	…	…	…	…	…	…	…	…	…
早期栽培計	462	480	96	7.26	8. 3	8.10	1日遅	4日早	やや少ない	やや少ない	少ない	やや良
広域沿海	462	480	96	7.26	8. 3	8.10	1日遅	4日早	やや少ない	やや少ない	少ない	やや良
普通栽培計	509	511	100	10. 3	10.15	10.30	1日遅	2日遅	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み
広域沿海	468	473	99	10. 1	10.10	10.20	1日遅	2日遅	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み
広域霧島	535	531	101	10. 5	10.18	11. 5	2日遅	2日遅	平年並み	平年並み	やや多い	平年並み
西北山間	479	490	98	9. 27	10.10	10.22	2日遅	2日遅	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
鹿 児 島	488	481	101	…	…	…	…	…	…	…	…	…
早期栽培計	428	441	97	7.30	8. 7	8.17	3日遅	1日遅	少ない	平年並み	少ない	良
薩摩半島	423	442	96	7.31	8. 5	8. 8	1日遅	2日早	少ない	平年並み	少ない	良
大隅半島	443	451	98	7.31	8. 9	8. 21	4日遅	2日遅	少ない	平年並み	少ない	良
熊毛・大島	401	414	97	7.24	7.29	8. 7	5日遅	1日遅	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良
普通栽培計	506	493	103	10. 6	10.16	11. 3	1日遅	1日遅	平年並み	やや少ない	やや少ない	良
薩摩半島	484	475	102	10. 2	10.11	10.22	並み	1日早	平年並み	少ない	少ない	良
出水薩摩	509	493	103	10. 8	10.19	11. 8	3日遅	2日遅	やや多い	やや少ない	やや少ない	良
伊佐始良	518	512	101	10. 6	10.23	11. 8	6日遅	6日遅	平年並み	やや少ない	やや少ない	良
大隅半島	494	473	104	10. 1	10. 9	10.21	1日遅	並み	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良

注 : 1 刈取期の始期とは刈取面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日です。

2 宮崎県及び鹿児島県の県平均の「刈取期」以降の指標は、調査を早期・普通期別等に行っており県平均をとりまとめているため「…」で示しています。

表3 平成23年産水稻の被害種類別被害面積及び被害量(県別)

区 分	総 数		気 象 被 害					
			計		うち 風水害		うち 日照不足	
	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量
	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
九州計	603,900	104,900	271,200	52,900	85,400	18,700	159,900	32,800
福 岡	117,400	14,600	46,100	5,880	20,800	2,630	25,300	3,250
佐 賀	66,600	11,200	30,800	6,320	8,450	1,400	22,300	4,920
長 崎	31,900	6,660	21,100	4,500	12,800	3,610	8,010	852
熊 本	115,000	21,200	60,800	10,300	8,190	2,510	37,900	7,100
大 分	74,200	16,600	26,300	7,320	2,850	1,150	23,300	6,090
宮 崎	66,000	16,400	28,600	8,020	9,250	3,440	19,000	4,380
鹿児島	133,100	18,200	57,600	10,500	23,100	3,990	24,100	6,170

区 分	病 害						虫 害	
	計		うち いもち病		うち 紋枯病		計	
	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量
	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
九州計	199,600	37,100	76,500	20,800	55,900	7,580	112,200	9,620
福 岡	45,700	6,170	15,300	2,600	10,600	699	18,400	1,260
佐 賀	23,000	3,810	6,240	1,080	9,830	1,380	12,300	794
長 崎	4,760	1,020	1,260	355	2,000	417	4,790	435
熊 本	32,600	7,640	14,300	4,740	6,990	1,420	19,700	2,490
大 分	33,900	7,390	14,100	4,980	4,860	581	11,700	778
宮 崎	25,400	7,030	12,600	4,970	8,690	1,500	10,900	1,010
鹿児島	34,400	4,050	12,700	2,050	12,900	1,580	34,400	2,850

区 分	虫 害				その他	
	うち ウンカ		うち カメムシ		計	
	被害面積	被害量	被害面積	被害量	被害面積	被害量
	ha	t	ha	t	ha	t
九州計	14,100	1,830	12,700	1,460	20,900	5,230
福 岡	2,080	226	1,450	93	7,210	1,270
佐 賀	703	45	999	65	537	249
長 崎	914	102	668	52	1,210	701
熊 本	1,700	665	2,290	315	1,910	721
大 分	130	80	662	90	2,260	1,160
宮 崎	1,920	217	2,690	373	1,120	324
鹿児島	6,650	496	3,930	468	6,660	807

注:1 被害面積の総数並びに気象被害、病害及び虫害の計は、被害種類別面積の延べ数であり、同一地域で2種類以上の被害を受けた場合は重複して計上しています。

2 被害面積及び被害量については、ラウンドしているため、県ごとの積み上げ値と九州計は一致しません。

【参考 1】

平成23年産水稻の作柄表示地帯別の作況指数

区 分	作況指数	区 分	作況指数
福 岡	101	宮 崎	98
福 岡	100	広域沿海	97
北九州・豊前	101	広域霧島	101
筑 豊	100	西北山間	98
北筑後	101	早期栽培計	96
南筑後	102	広域沿海	96
佐 賀	101	普通栽培計	100
佐 賀	101	広域沿海	99
松 浦	100	広域霧島	101
長 崎	102	西北山間	98
西 彼	101	鹿 児 島	101
東南部	101	薩摩半島	100
県 北	101	出水薩摩	103
五 島	103	伊佐始良	101
壱岐・対馬	108	大隅半島	102
熊 本	101	熊毛・大島	97
県 北	103	早期栽培計	97
阿 蘇	95	薩摩半島	96
県 南	100	大隅半島	98
天 草	105	熊毛・大島	97
大 分	99	普通栽培計	103
北 部	100	薩摩半島	102
湾 岸	98	出水薩摩	103
南 部	97	伊佐始良	101
日 田	104	大隅半島	104

【参考 2】

平成23年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況及び10a当たり収量内訳(県別)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格三等の品位(整粒歩合45%)以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としています(【参考4】参照)。

農家等が販売するために使用している選別ふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、ふるい目幅別の重量割合とふるい目幅別10a当たり収量を示すと次のとおりです。

単位 { 重量割合 : %
対平均差 : ポイント

区 分	合 計	ふ る い 目 幅						
		2.00mm 以上	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm	
九州	重量割合	100.0	68.5	21.2	4.4	2.7	2.0	1.2
	対平均差		4.2	△ 2.5	△ 0.9	△ 0.6	△ 0.1	△ 0.1
福岡	重量割合	100.0	71.7	18.2	4.2	2.6	2.1	1.2
	対平均差		6.5	△ 4.2	△ 1.3	△ 0.8	0.1	△ 0.3
佐賀	重量割合	100.0	76.7	15.3	2.9	2.3	1.7	1.1
	対平均差		11.5	△ 7.5	△ 2.2	△ 1.3	△ 0.3	△ 0.2
長崎	重量割合	100.0	60.0	28.4	5.7	2.9	1.9	1.1
	対平均差		2.6	1.5	△ 0.5	△ 1.8	△ 1.0	△ 0.8
熊本	重量割合	100.0	71.3	19.4	3.5	2.7	1.9	1.2
	対平均差		6.8	△ 4.6	△ 1.5	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.2
大分	重量割合	100.0	57.5	27.2	6.7	3.7	3.3	1.6
	対平均差		△ 0.4	0.5	△ 0.1	△ 0.5	0.3	0.2
宮崎	重量割合	100.0	63.0	26.0	5.0	2.8	2.0	1.2
	対平均差		△ 6.0	4.3	0.8	0.3	0.5	0.1
鹿児島	重量割合	100.0	68.4	22.4	4.3	2.5	1.5	0.9
	対平均差		1.7	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.3

単位: kg

区 分	10a 当 たり 収 量 (1.70mm 選 別)	選別ふるい目幅別10a当たり収量				
		2.00mm 選 別	1.90mm 選 別	1.85mm 選 別	1.80mm 選 別	1.75mm 選 別
		九州	505	346	453	475
福岡	503	361	452	473	486	497
佐賀	531	407	489	504	516	525
長崎	486	292	430	457	471	481
熊本	519	370	471	489	503	513
大分	499	287	423	456	475	491
宮崎	489	308	435	460	473	483
鹿児島	488	334	443	464	476	484

- 注 : 1 平均対差に用いた平均値は、直近5カ年の重量割合の平均値です。
 2 選別ふるい目幅別10a当たり収量とは、表頭のふるい目幅を使用した際に得られる10a当たり収量のことです。
 3 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいます。
 4 対平均差欄の「△」は平均値より少ないことを示します。

【参考 3】

農 家 が 使 用 し た 選 別 ふ る い 目 幅 の 分 布
【平成23年産水稻作況標本(基準)筆農家からの聞き取り結果】

単位：%

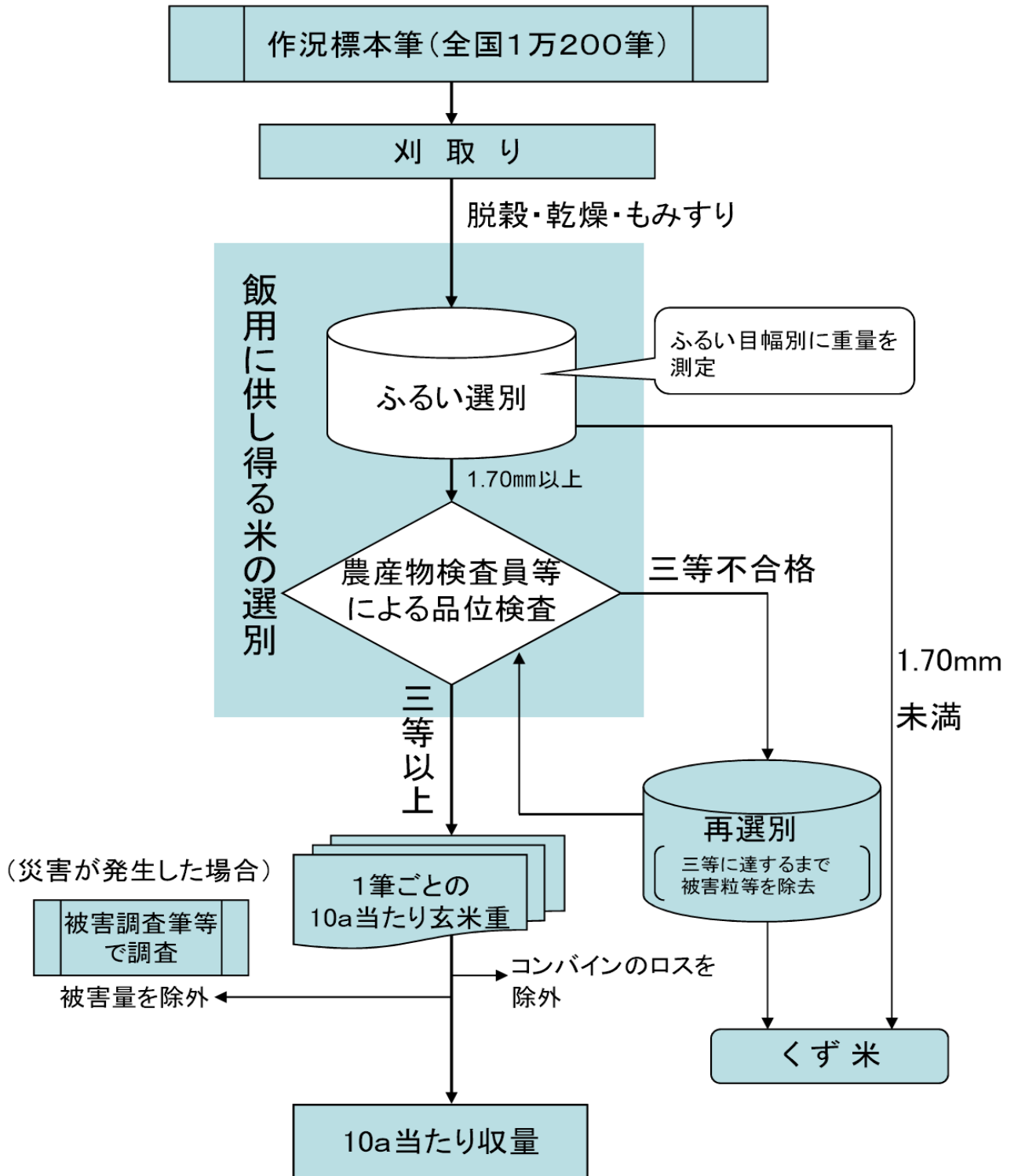
区 分	計	2.00mm 以 上	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
九 州	100.0	0.1	6.9	43.2	46.8	1.4	1.6
福 岡	100.0	0.3	2.0	84.7	12.3	0.7	-
佐 賀	100.0	-	42.2	57.4	0.4	-	-
長 崎	100.0	-	-	16.6	63.8	6.7	12.9
熊 本	100.0	-	1.3	53.3	42.7	1.7	1.0
大 分	100.0	-	-	35.4	63.1	1.5	-
宮 崎	100.0	-	-	-	100.0	-	-
鹿 児 島	100.0	-	-	14.7	85.3	-	-

注： この表は水稻作況標本(基準)筆調査農家が使用したふるい目幅別の農家割合です。

【参考 4】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考5】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格三等以上の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測しています（下図参照）。



【参考 5】

作況標本筆とは

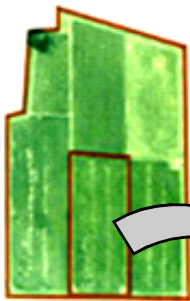
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆(1枚のほ場を筆という。)は、都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて以下のように各地で選定(全国で約1万200筆)しています。

都道府県内の全耕地
(母集団)



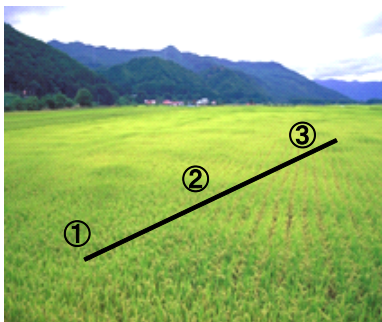
- ① 都道府県ごとの耕地を、約2haの区画に区切った単位区の集まり(調査母集団)として整理し、その中の水田を含むものから、無作為抽出法(人間の恣意を排したくじ引きの様な選び方)により「標本単位区」を選んでいます。

標本単位区
(約2ha)



- ② 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としています。

作況標本筆
(全国で約1万200筆)



- ③ 各作況標本筆の対角線上の3か所を実測調査箇所として、サンプル採取(坪刈り)を行っています。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び稲調査（水稲・陸稲）の収穫量調査として実施し、水陸稲の作付面積、作柄状況・収穫量を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導、共済事業の適切な運営等の農政推進のための資料とすることを目的としています。

2 調査期間

- (1) 作付面積調査
 - ア 水 稲：7月15日現在
 - イ 陸 稲：収穫期
- (2) 収穫量調査
 - 水陸稲：収穫期

3 調査方法

- (1) 作付面積調査
 - ア 水稲：標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積もり及び情報収集により行いました。
 - イ 陸稲：関係団体に対する往復郵送調査、職員による巡回・見積もり及び情報収集により行いました。
- (2) 収穫量調査
 - ア 水稲：作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査並びに作況基準筆結果に基づく巡回・見積もりにより行いました。
 - イ 陸稲：関係団体に対する往復郵送調査並びに職員による巡回・情報収集により行いました。

4 調査対象数

- (1) 作付面積調査
 - ア 水稲：標本単位区：6,026単位区 巡回・見積もり：233市町村
 - イ 陸稲：関係団体：1団体 巡回・見積もり：233市町村
- (2) 収穫量調査
 - ア 水稲：作況標本筆：1,495筆 作況基準筆：176筆 巡回・見積もり：233市町村
 - イ 陸稲：関係団体：1団体 巡回・情報収集：233市町村

5 用語の解説

- 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用等含む。）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指します。
- 「穂数の多少」は、1㎡あたりに出穂した全ての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についている全てのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりの全てのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表しています。

- 上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較です。

多少(良否)	少ない(不良)	やや少ない(やや不良)	平年並み	やや多い(やや良)	多い(良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

- 「作況指数」とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率です。
- 「10a当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。
- 「被害面積」とは、農作物に損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に穫れ得ると見込まれる収量から減収した面積をいいます。
- 「被害量」とは、農作物の栽培が開始されてから収納されるまでの期間に、災害等によって損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に穫れ得ると見込まれる収量より減収した量をいいます。

【関連リンク】

九州農政局ホームページ>統計情報

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/index.html>

九州農政局ホームページアドレス

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/index.html>

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第1・2係

電話：(代) 096-211-9111 内線 4943・4944

直通電話： 096-211-9863

◎農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画係

電話：(代) 096-211-9111 内線 4924

直通電話： 096-211-9845